

飯まち第 550 号
令和7年 2月 10日

国土交通省
中国地方整備局長 林 正道 様

飯南町長 塚原 隆昭

都市・地域再生等利用区域の指定等についての要望書

平素より本町行政の推進につきましては、特段の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成 23 年 6 月に完成した志津見ダムについては、広く国民に開放することにより、斐伊川・神戸川治水対策の目的や、役割・効果を知ってもらう事に留まらず、貴重な地域資源として活用することで、地域の自立的・持続的な活性化に繋がることが期待されています。

現在、「第2次志津見ダム水源地域ビジョン」により、地元住民、国、県、町及び関係団体が連携して、ダム及びダム周辺地域活性化の推進に取り組んでいるところであります。

そこで、志津見ダムを民間開放することを視野に入れ、魅力ある地域連携の場としてより一層活用していきたいと考えております。

つきましては、別紙のとおり、河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域の指定等について、格別の御厚情を賜りますようお願い申し上げます。

出雲河川事務所

中整出河占第 162 号

R7.2.10

都市・地域再生等利用区域の指定等について

1. 目的

志津見ダム水源地域では、志津見ダムをはじめとした様々な地域資源を活かし、地域に暮らす人々が自らの幸せな将来のために力をあわせて、流域全体と連携しながら地域の活性化を進めていくことを基本理念に「志津見ダム水源地域ビジョン」を策定し、地域の活性化を進めてきました。

現在は、令和 5 年 3 月に策定した「第 2 次志津見ダム水源地域ビジョン」を基に、豊かな自然環境、志津見ダムなどの地域資源を活用した地域づくりに取り組んでいます。ポピー祭やコスモス祭などのフラワーイベント開催、島根大学生との田舎体験交流などは第1次計画から継続して取り組んでいます。また、「志津見ダム水源地域ビジョン」における「ダムを活用した特産品の開発」として平成 28 年度から試行してきたダム貯蔵酒については、7年間の試行を経て令和6年2月に地域活性に寄与するものとして検証され、現在も斐伊川流域の酒造会社と連携して実施しています。今後も、上下流域の地域間交流を促進し、志津見ダムのピアーナル及び地域の賑わい創出に繋がるよう、様々な取り組みを展開していきたいと考えております。

これらのことを踏まえ、志津見ダム周辺地域の更なる地域振興を推進していくために国、町及び地元団体等から組織された志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会を通じて民間開放による志津見ダムの利活用に取り組んでいくものです。

2. 志津見ダム利用区域

志津見ダムの別図に示す区域

3. 都市・地域再生等占用施設の内容等について

①志津見ダム及び周辺施設

ダム堤体内・リムトンネルを使った酒や野菜・加工品などの貯蔵、
ダム展望広場でのイベントの実施、飲食物の提供及び物品の販売、
ダム関連施設を活用したアクティビティ、EV 充電スポット整備

②東三瓶フラワーバレー イベント広場

フラワーイベント(ポピー祭・コスモス祭)などの開催、飲食物の提供及び物品の販売、
小堰堤を活用した水辺イベントの開催

③神戸の森・多目的広場

神戸の森(自然公園)・アジサイの活用
志々桜広場(水辺公園・多目的広場)でのイベント・交流事業実施

4. 都市・地域再生等占用主体

飯南町

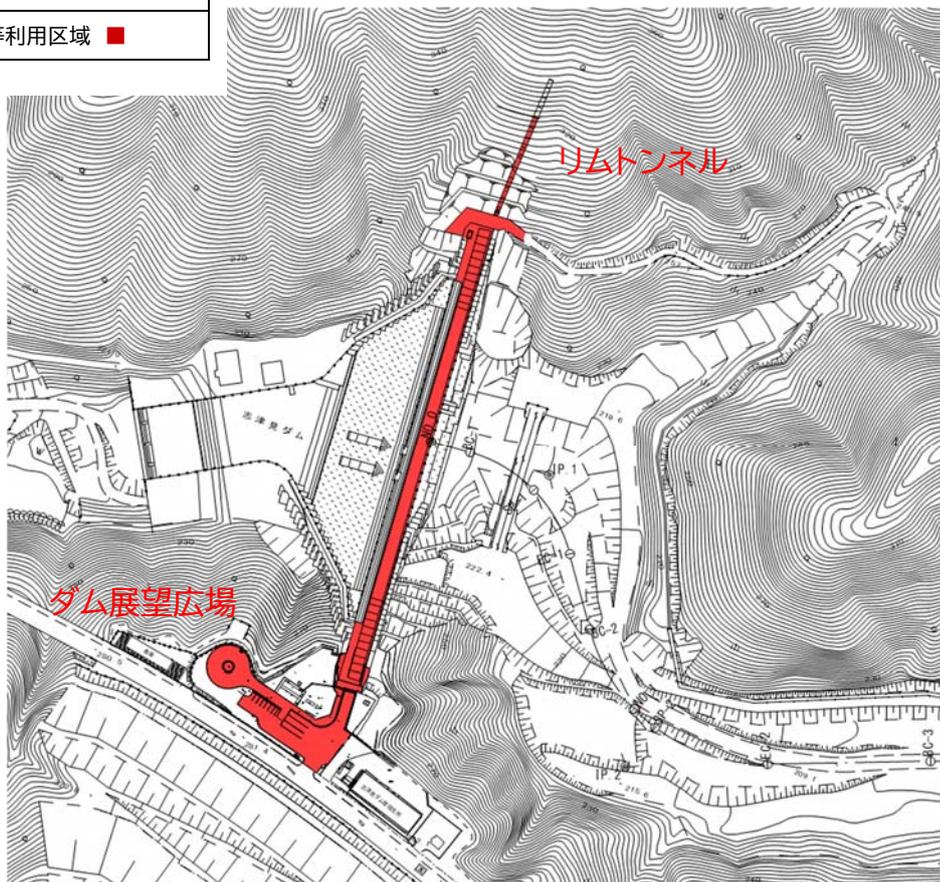
都市・地域再生等利用区域位置図



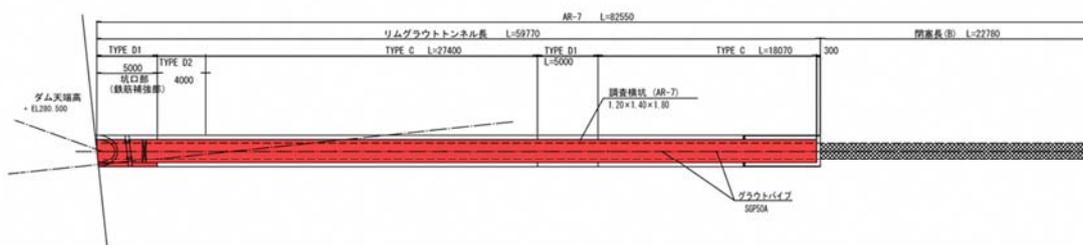
① 志津見ダム及び周辺施設

ダム堤体内・リムトンネルを使った酒や野菜・加工品などの貯蔵、
 ダム展望広場でのイベントの実施、飲食物の提供及び物品の販売、
 ダム関連施設を活用したアクティビティ、EV 充電スポット整備

凡例	
都市・地域再生等利用区域	■

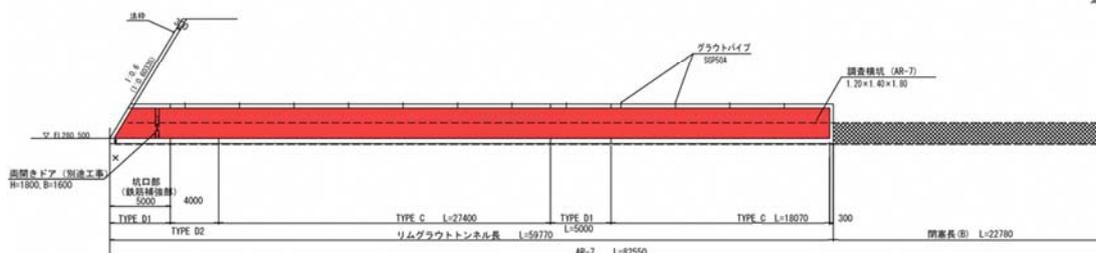
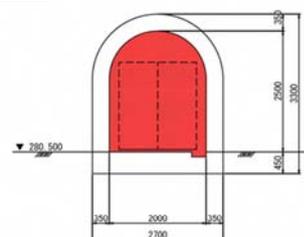


平面図 S=1/200

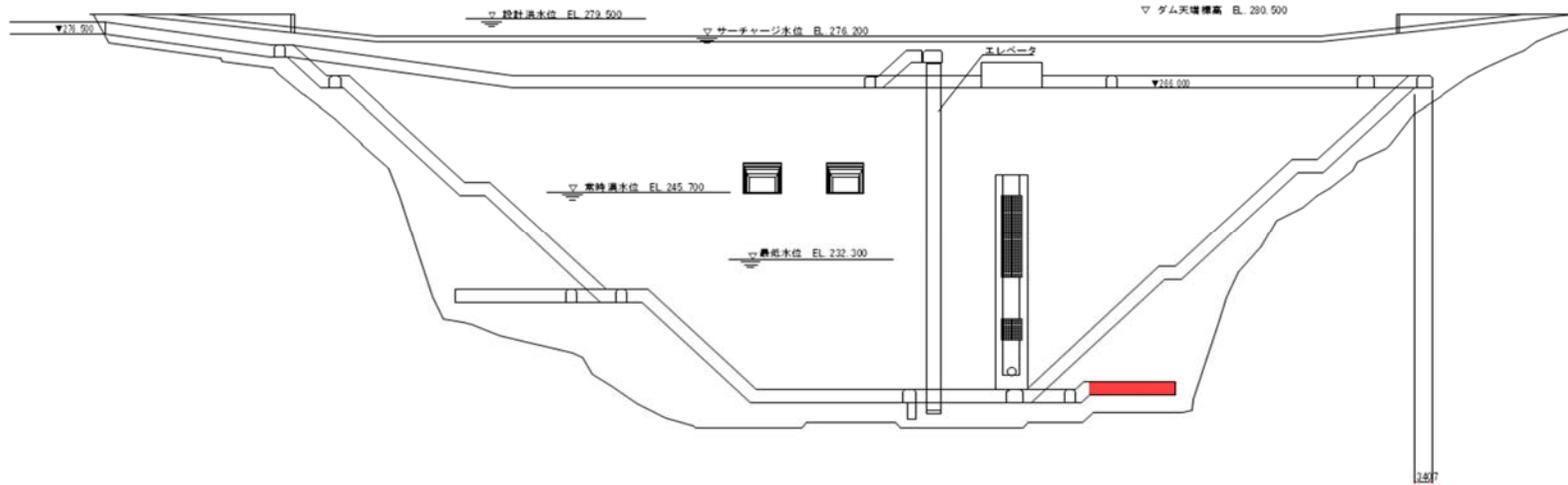


縦断面図 S=1/200

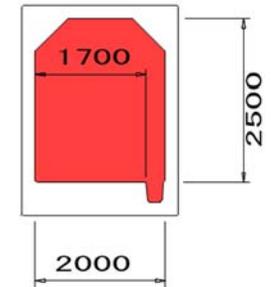
坑口正面図 S=1/50



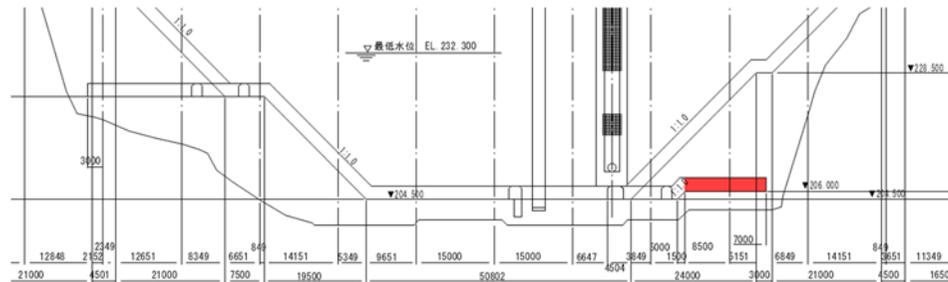
ダム堤体内



監査廊詳細図

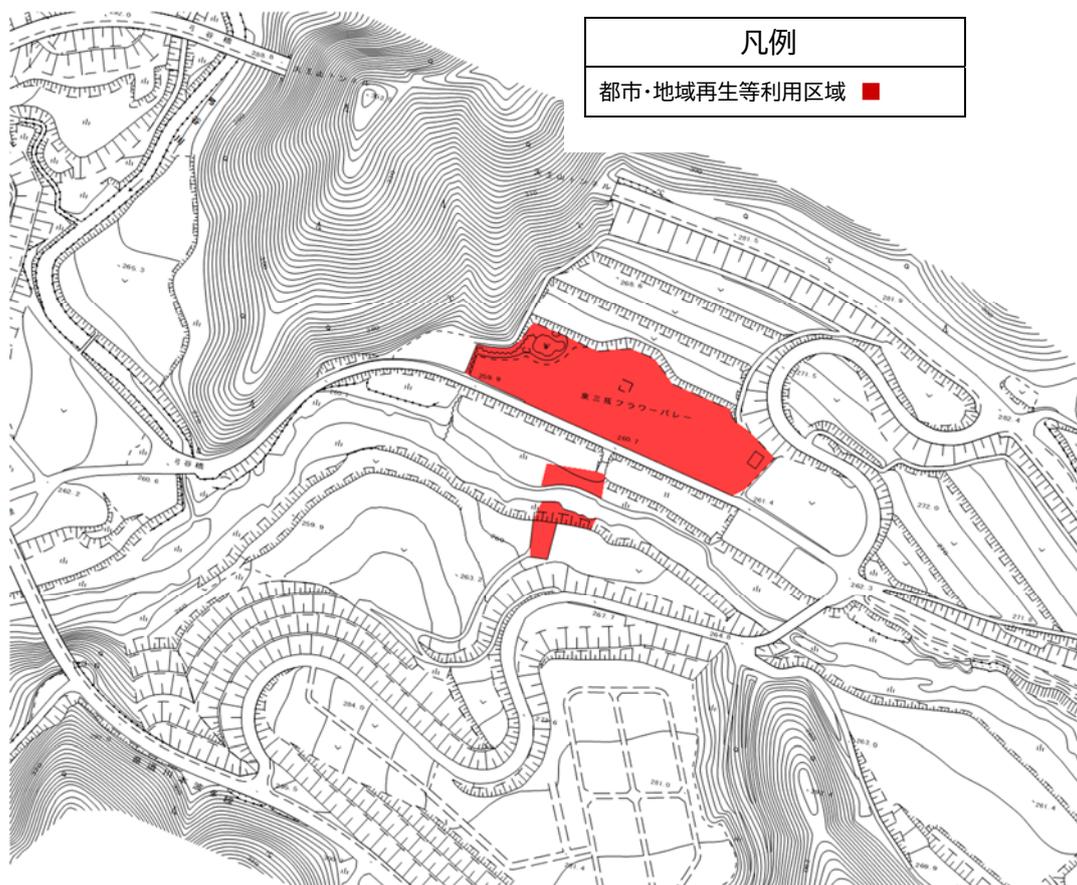


縦断面図



② 東三瓶フラワーバレー イベント広場

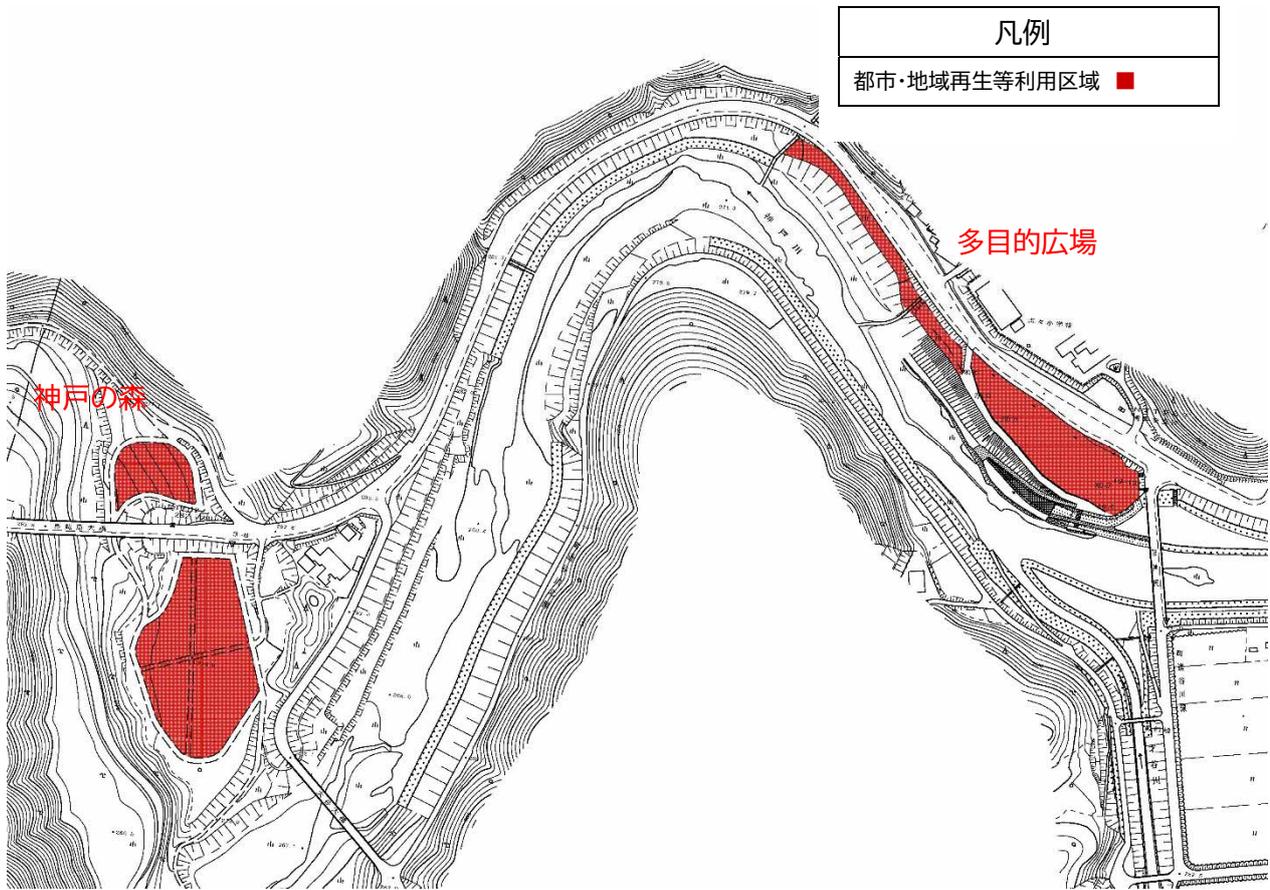
フラワーイベント(ポピー祭・コスモス祭)などの開催、飲食物の提供及び物品の販売、
小堰堤を活用した水辺イベントの開催



③ 神戸の森・多目的広場

神戸の森(自然公園)・アジサイの活用

志々桜広場(水辺公園・多目的広場)でのイベント・交流事業実施



都市・地域再生等占用内容について

1. 占用方針

広場、イベント施設、遊歩道、前述に掲げる施設と一体をなす飲食店、売店、オープンカフェ、広告板、広告柱、照明・音響施設、キャンプ場、バーベキュー場等、その他都市及び地域の再生等のために利用する施設。

※河川敷地占用許可準則第二十二 第3項 第1号、第2号、第3号、第6号、及び第11号

2. 工作物の形態

① フラワーバレーイベント施設

- ア) 占用場所 島根県飯石郡飯南町志津見地先
- イ) 占用面積 221.21㎡
- ウ) 占用期間 通年
- エ) 平面図、現況写真(別紙1のとおり)

② 多目的広場

- ア) 占用場所 島根県飯石郡飯南町八神地先
- イ) 占用面積 8779.14㎡
- ウ) 占用期間 通年
- エ) 平面図、現況写真(別紙2のとおり)

3. 管理・運営方法

(1) 占用主体及び事業者等

区分①～④の事業を実施する事業者等は、占用主体である飯南町が選定を行う。

- ①ダム堤体内・リムトンネルを使った酒や野菜・加工品等の貯蔵
- ②飲食物の提供及び物品の販売
- ③イベント・交流事業の実施
- ④その他、ダム関連施設を利用した事業

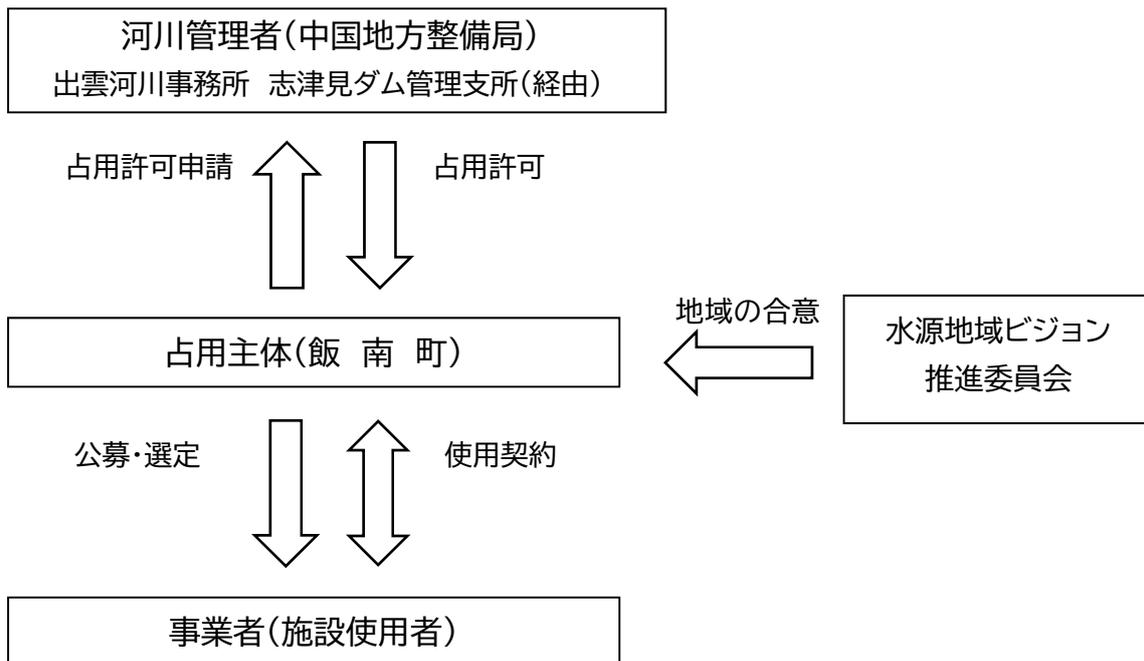
(2) 運営方針

- 1. 飯南町の地域振興・観光振興に寄与するものとする。
- 2. 施設の使用にあたっては、その機能や稼働の支障とならないよう措置を講じる。
- 3. 占用主体(飯南町)と事業者等で事業実施に係る契約を締結する。
- 4. 占用主体(飯南町)は事業者等から納入された施設利用料を、当該占用許可を受けている区域における良好な水辺空間の保全を図るための費用に充てるものとする。

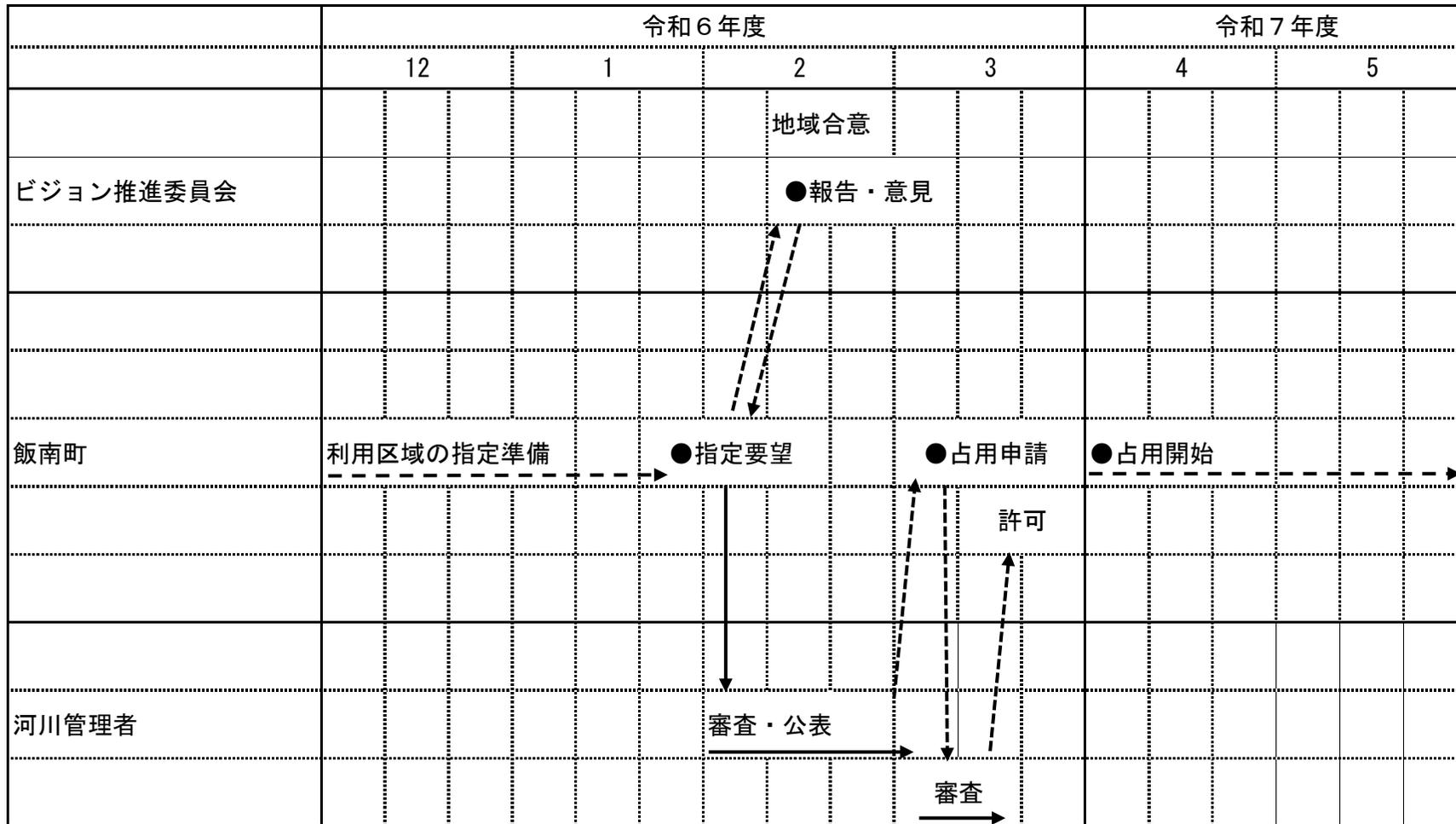
5. 占用主体(飯南町)は施設利用料の徴収及び活動状況を河川管理者に、年1回以上で河川管理者が定める回数を報告する。

(3)利用調整

占用主体である飯南町は、収益事業を行う事業者等と、都市・地域再生等利用区域内での事業実施に係る契約を締結するものとする。



都市・地域再生等利用区域の指定事業計画スケジュール



志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会 規約

(名 称)

第1条 本会は、「志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会」（以下「委員会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 委員会は、志津見ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図り流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を図るための行動計画である「志津見ダム水源地域ビジョン」（以下「水源地域ビジョン」という。）の推進と関係組織相互の協働・連携・支援等を図ることを目的とする。

(内 容)

第3条 委員会は、以下の項目について実施するものとする。

- (1) ビジョンの推進にかかる事項の検討
- (2) アクションプランの実施内容のフォローアップ
- (3) アクションプラン実施のための関係組織相互の連携・調整・支援
- (4) その他目的を達成するために必要な事項

(組織等)

第4条 委員会の委員は、国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所長が委嘱する。

- 2 委員は、別表に掲げるとおりとする（所属及び役職）。
- 3 委員会には、委員の互選によって委員長をおく。
- 4 委員長は、会務を総理し委員会を代表する。
- 5 委員の任期は特に設けないものとする。
- 6 委員会は必要に応じて検討会や懇談会等を設け、意見・提案を受けることができる。

(議事)

第5条 委員会は委員長が招集し、委員長が議長をつとめる。

- 2 委員会は、委員総数の過半数の出席をもって成立する。但し、代理出席を認めるものとする。

(公開)

第6条 委員会は、原則として公開とする。

- 2 委員会に提出された資料は、原則として公開とする。但し、個人情報を取り扱う場合等、委員長が必要と認める場合は、非公開とすることができる。

(事務局)

第7条 委員会の事務局は、国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所志津見ダム管理支所及び飯南町まちづくり推進課におく。

- 2 事務局は、委員長の指示を受け委員会の遂行に必要な一切の事務を行う。

(その他)

第8条 本規約に定めのない事項については、委員長が委員会に諮りこれを定める。

附 則

本規約は、平成24年3月13日から施行する。

平成24年12月18日改正

平成26年2月5日改正

平成29年2月8日改正

令和2年2月13日改正

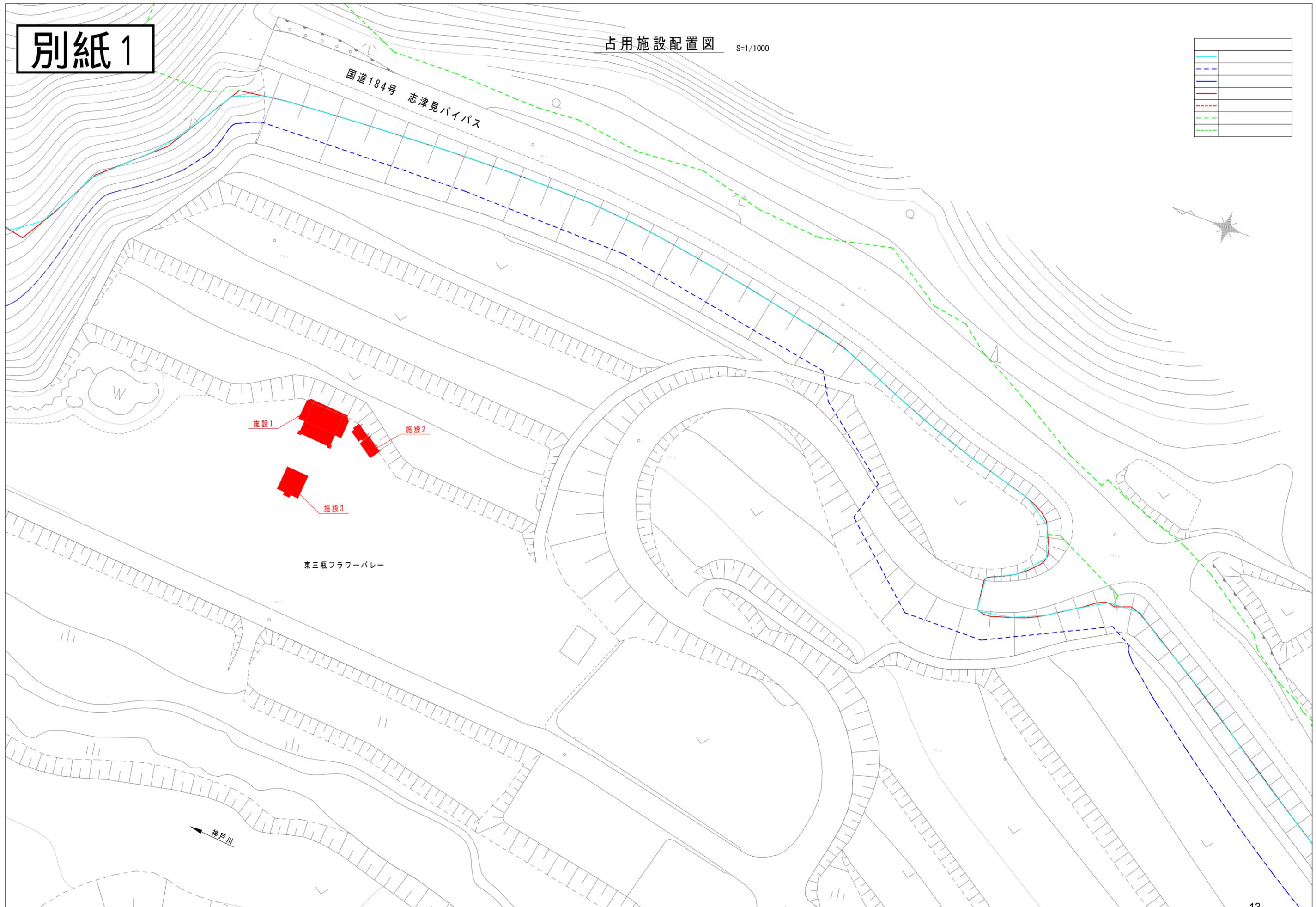
令和4年2月24日改正

■別表 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会 委員名簿

所 属	役 職	備 考
志津見ダム周辺活性化総合整備推進委員会	会長	
志津見ダム周辺活性化総合整備推進委員会	副会長	
志津見ダム対策同盟会	会長	
飯南町	飯南町長	委員長
島根県 土木部 斐伊川神戸川対策課	斐伊川神戸川対策課長	
島根県 雲南県土整備事務所	雲南県土整備事務所長	
国土交通省 中国地方整備局出雲河川事務所	出雲河川事務所長	

別紙 1

占用施設配置図 S=1/1000



施設1
施設2
施設3

東三瓶フラワーバレー

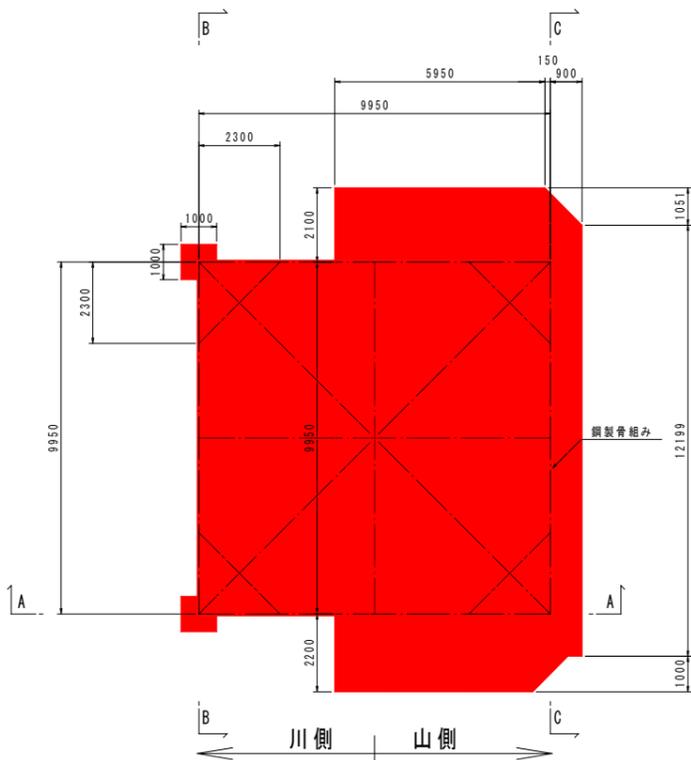
榎戸川

占用施設構造図（施設1）

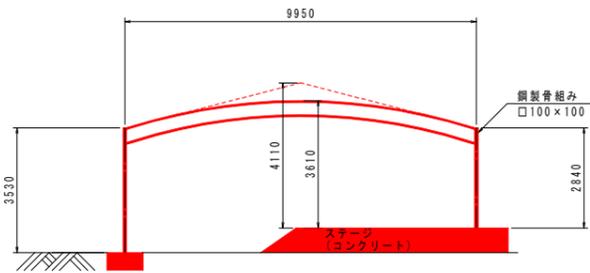
S=1/200

占用面積

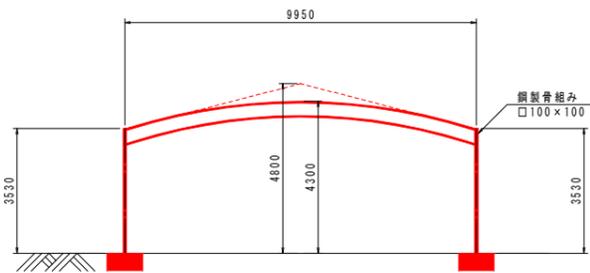
平面図



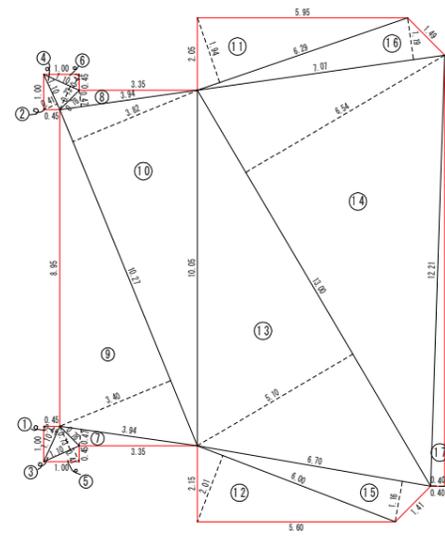
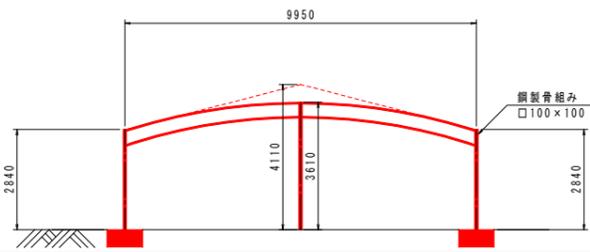
側面図 (A-A)



側面図 (B-B)



側面図 (B-B)

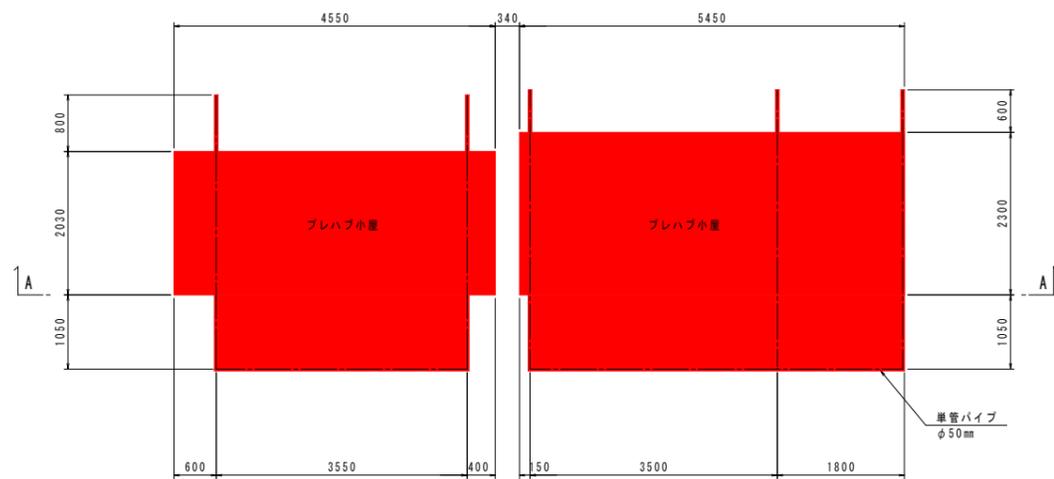


記号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	1.10	0.41	0.46	
2	1.10	0.41	0.46	
3	1.10	0.73	0.81	
4	1.10	0.73	0.81	
5	1.10	0.41	0.46	
6	1.10	0.41	0.46	
7	3.94	0.47	1.86	
8	3.94	0.47	1.86	
9	10.27	3.40	34.92	
10	10.27	3.82	39.24	
11	6.29	1.94	12.21	
12	6.00	2.01	12.06	
13	13.00	5.10	66.30	
14	13.00	6.54	85.02	
15	6.70	1.16	7.78	
16	7.07	1.19	8.42	
17	12.21	0.40	4.89	
倍面積			278.02	
面積			139.01	

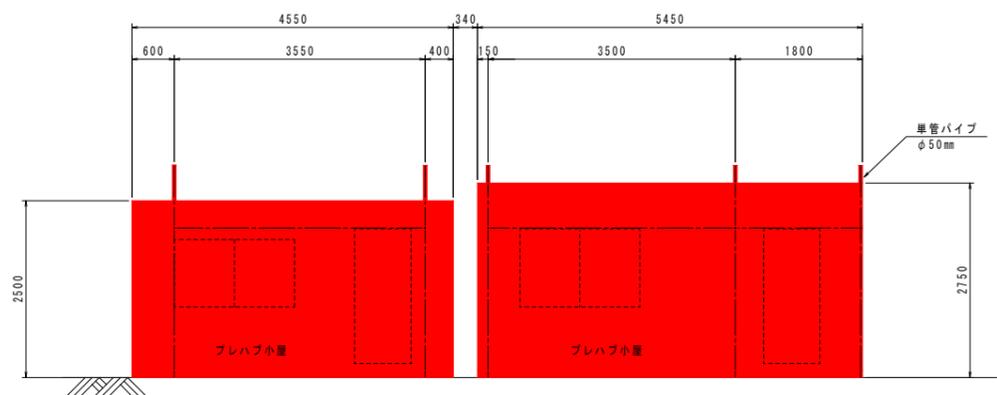
占用施設構造図（施設2）

S=1/100

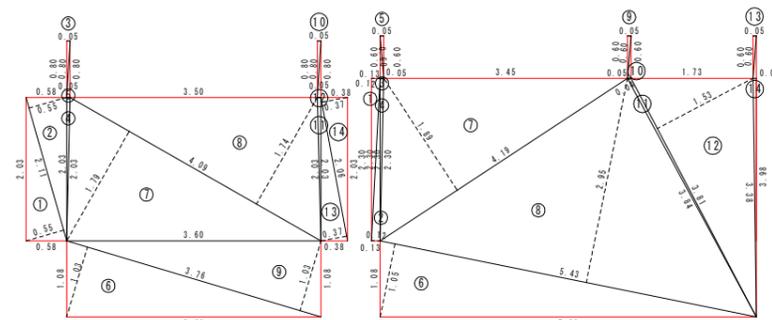
平面図



側面図 (A-A)



占用面積



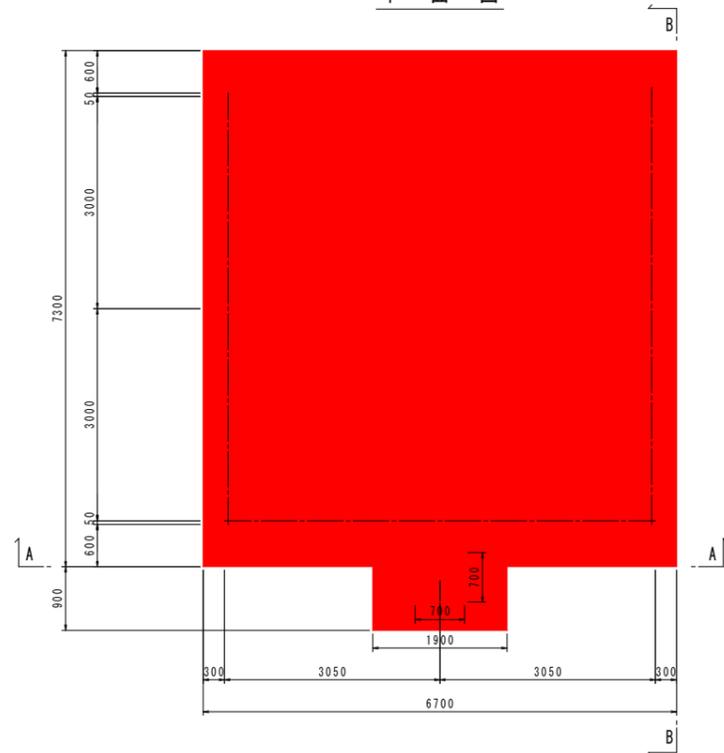
記号	底辺	高さ	倍面積	m ²
1	2.11	0.55	1.17	
2	2.11	0.55	1.17	
3	0.80	0.05	0.04	
4	2.03	0.05	0.11	
5	0.80	0.05	0.04	
6	3.76	1.03	3.88	
7	4.09	1.79	7.33	
8	4.09	1.74	7.12	
9	3.76	1.03	3.88	
10	0.80	0.05	0.04	
11	2.03	0.05	0.11	
12	0.80	0.05	0.04	
13	2.06	0.37	0.77	
14	2.06	0.37	0.77	
倍面積			26.47	
面積			13.24	

記号	底辺	高さ	倍面積	m ²
1	2.30	0.12	0.28	
2	2.30	0.12	0.28	
3	0.60	0.05	0.03	
4	2.30	0.05	0.12	
5	0.60	0.05	0.03	
6	5.43	1.05	5.71	
7	4.19	1.89	7.92	
8	5.43	2.95	16.02	
9	0.60	0.05	0.03	
10	0.60	0.05	0.03	
11	3.84	0.04	0.16	
12	3.81	1.53	5.83	
13	0.60	0.05	0.03	
14	3.98	0.05	0.20	
倍面積			36.67	
面積			18.34	

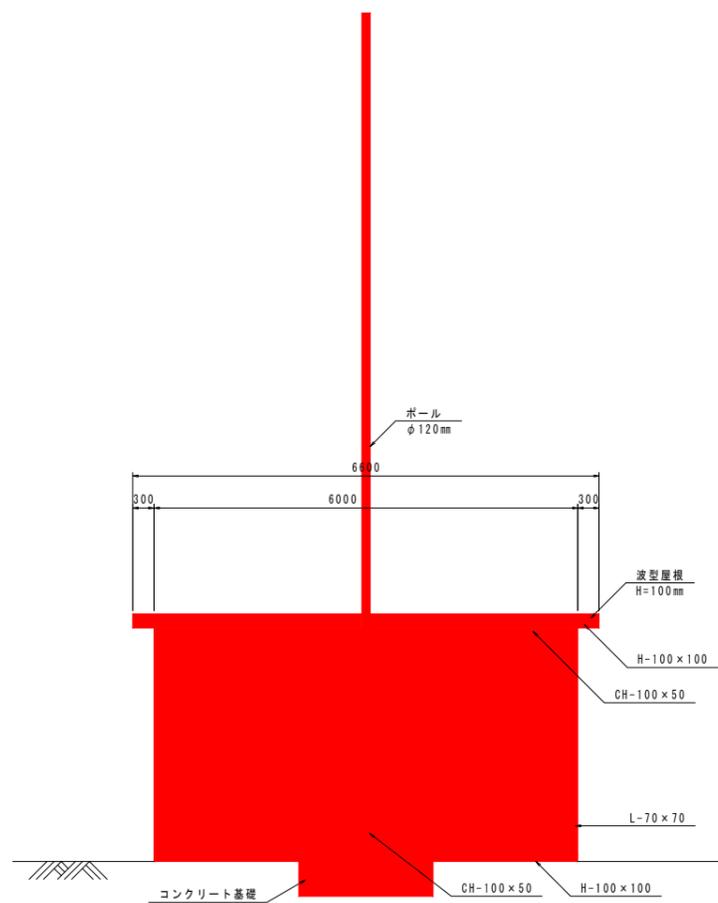
占用面積=13.24+18.34=31.58m²

占用施設構造図（施設3） S=1/100

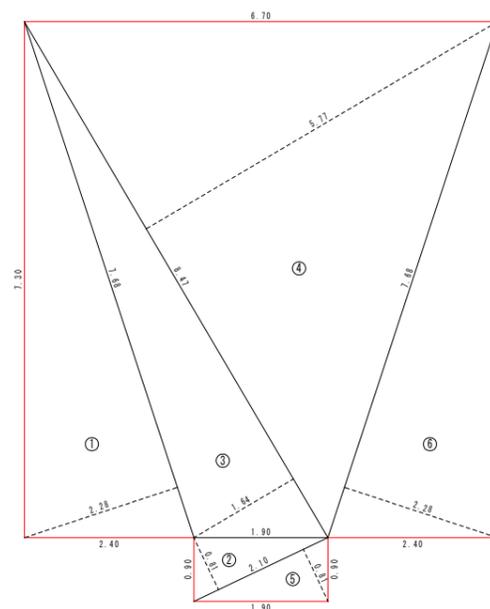
平面図



側面図 (A-A)

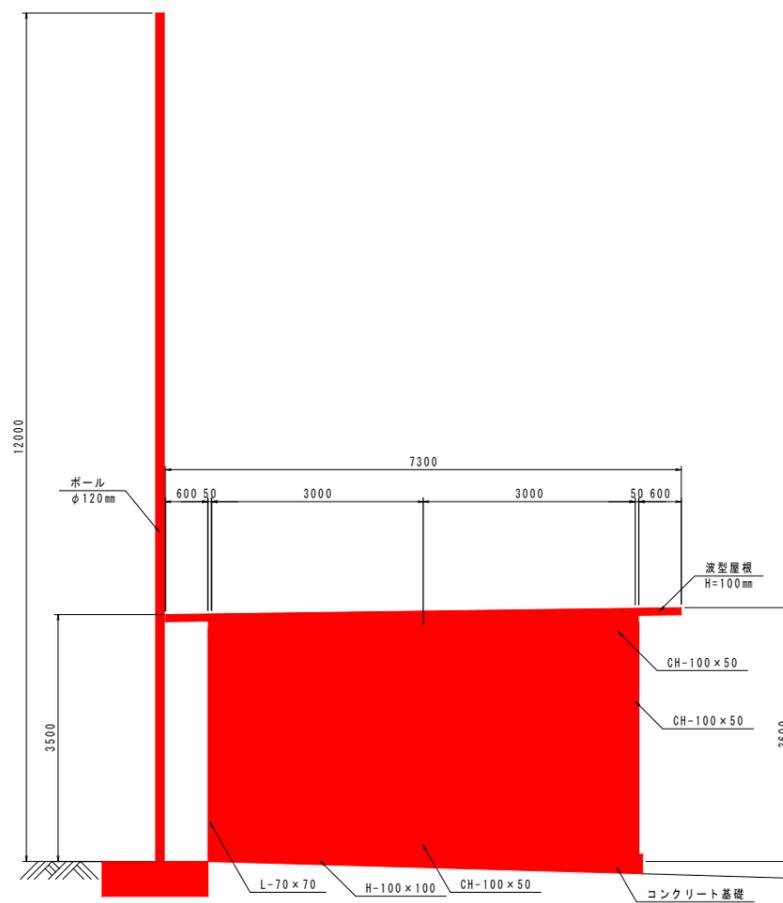


占用面積



記号	底辺	高さ	倍面積 m ²
1	7.68	2.28	17.52
2	2.10	0.81	1.71
3	8.47	1.64	13.90
4	8.47	5.77	48.88
5	2.10	0.81	1.71
6	7.68	2.28	17.52
倍面積 m ²			101.24
面積 m ²			50.62

側面図 (B-B)





全景



施設1
ステージ用テント



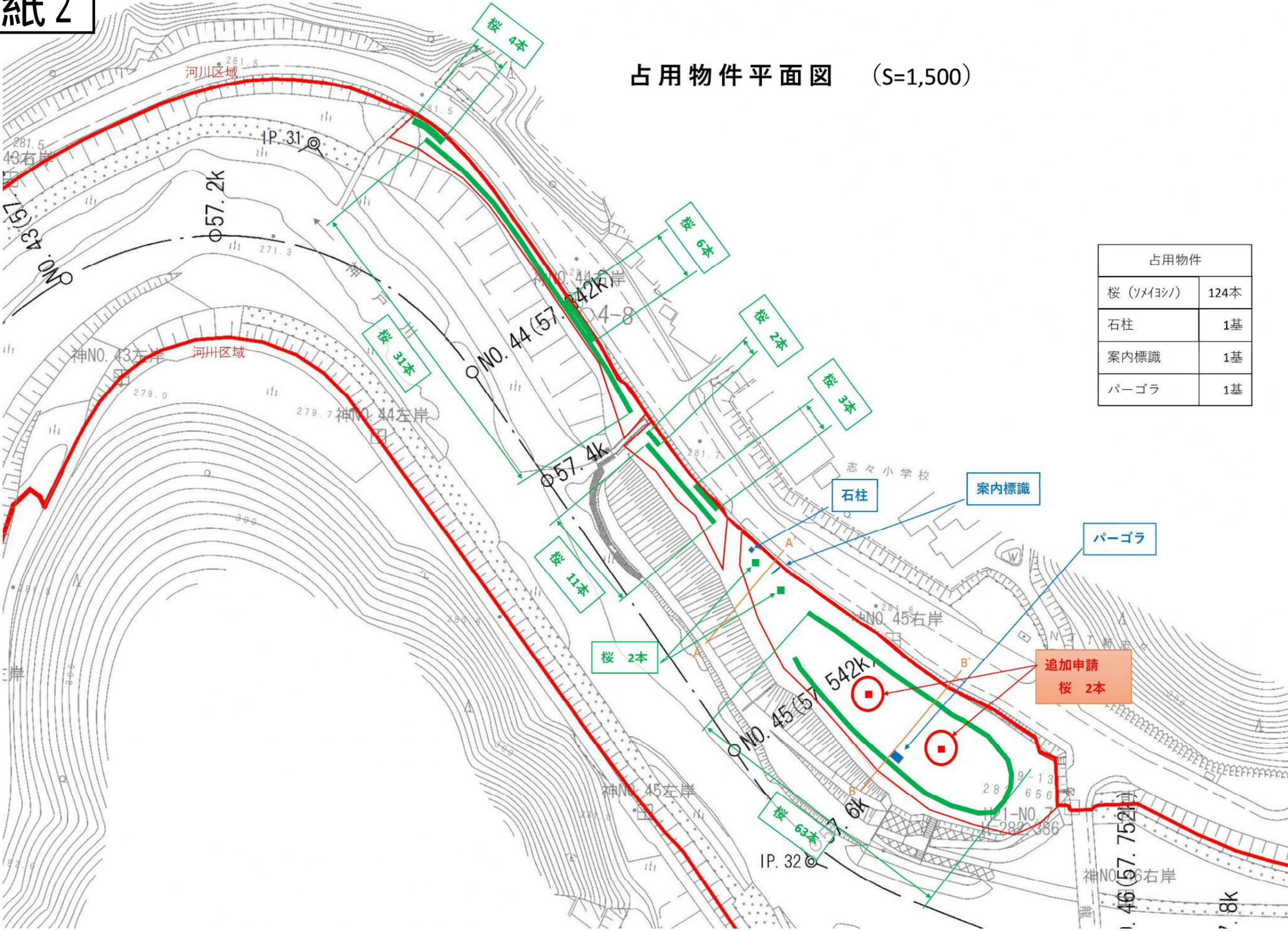
施設2
控え室用プレハブ



施設3
客席用テント

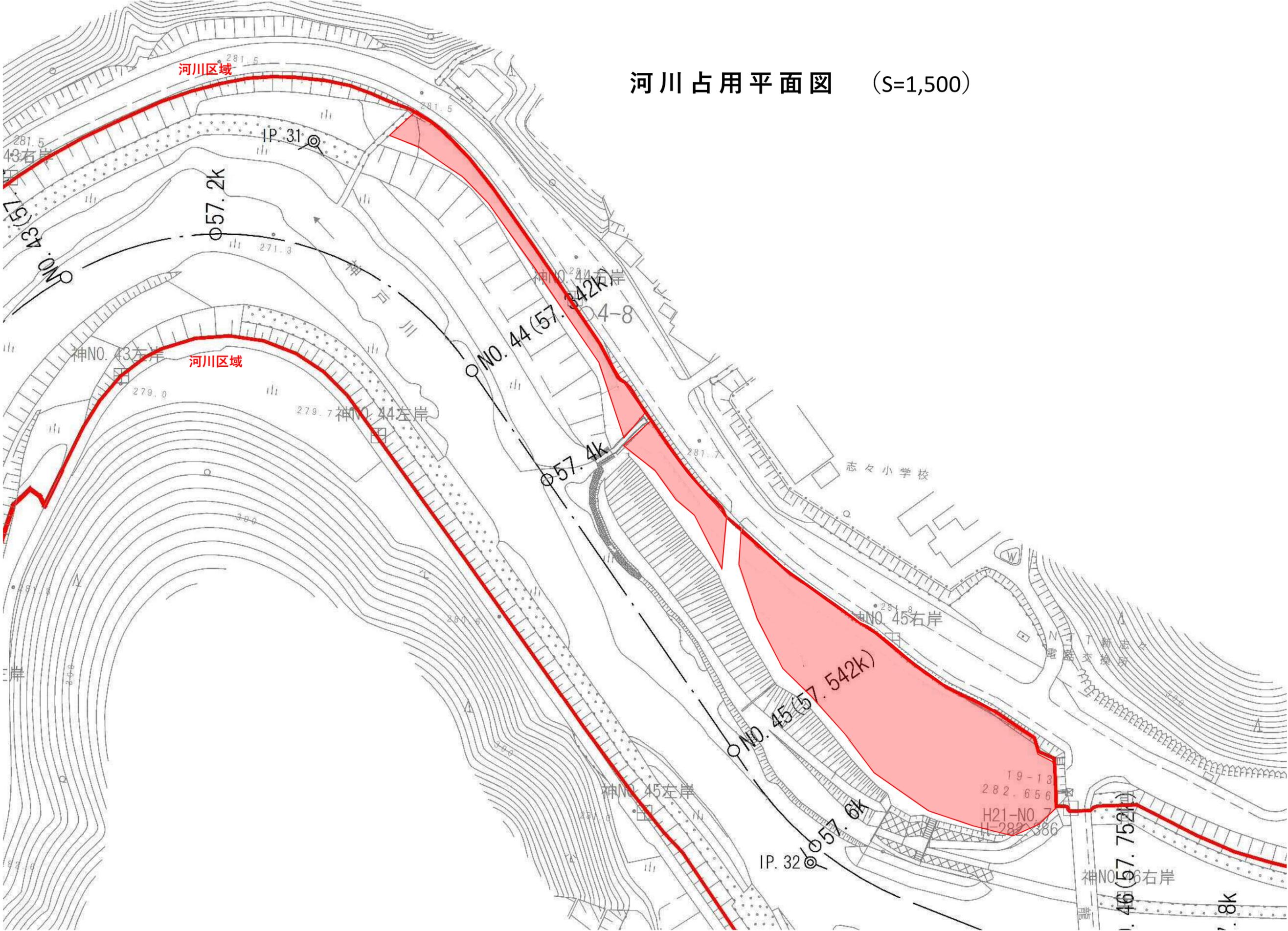
別紙 2

占用物件平面図 (S=1,500)

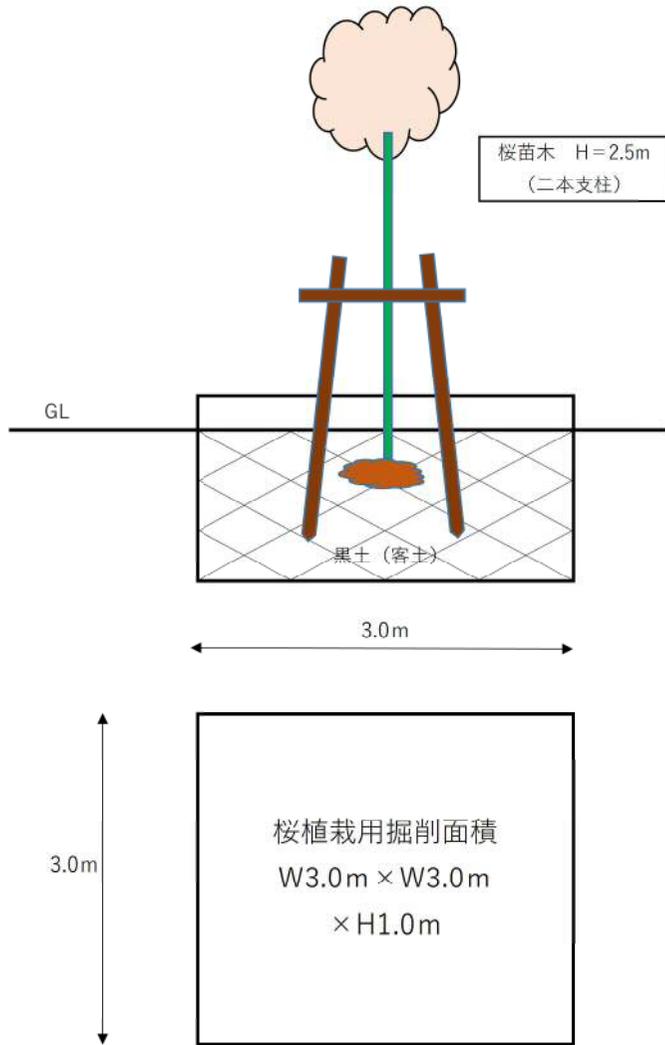


占用物件	
桜 (ソメイヨシノ)	124本
石柱	1基
案内標識	1基
パーゴラ	1基

河川占用平面图 (S=1,500)



志々桜広場占用物件（桜） 詳細図



桜広場（上流側から下流方向）



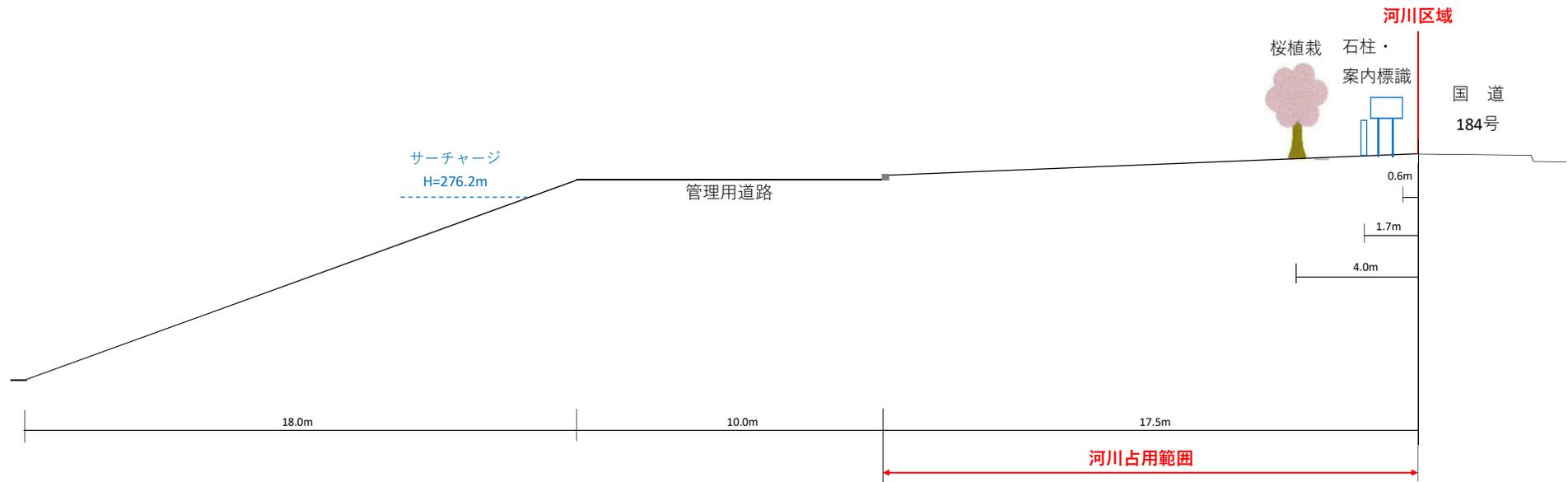
上流側桜植栽位置



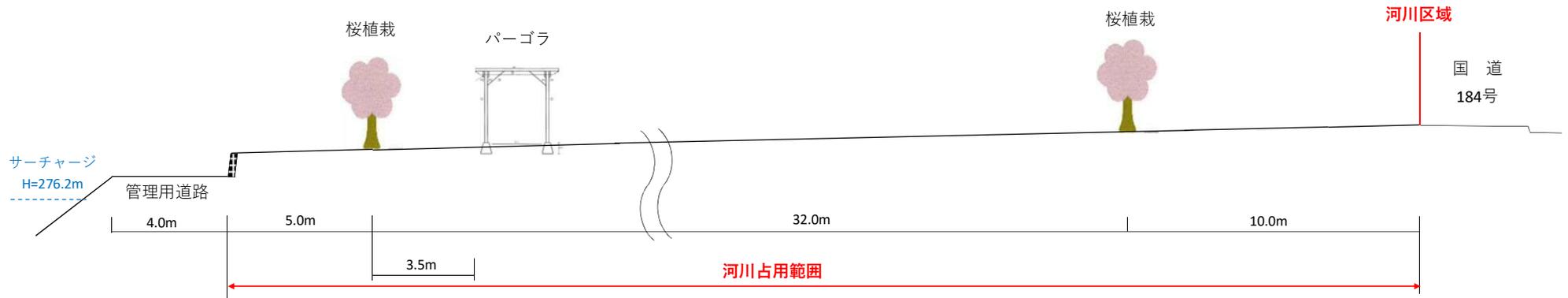
下流側桜植栽位置



標準断面図 (A-A') (S=1:200)

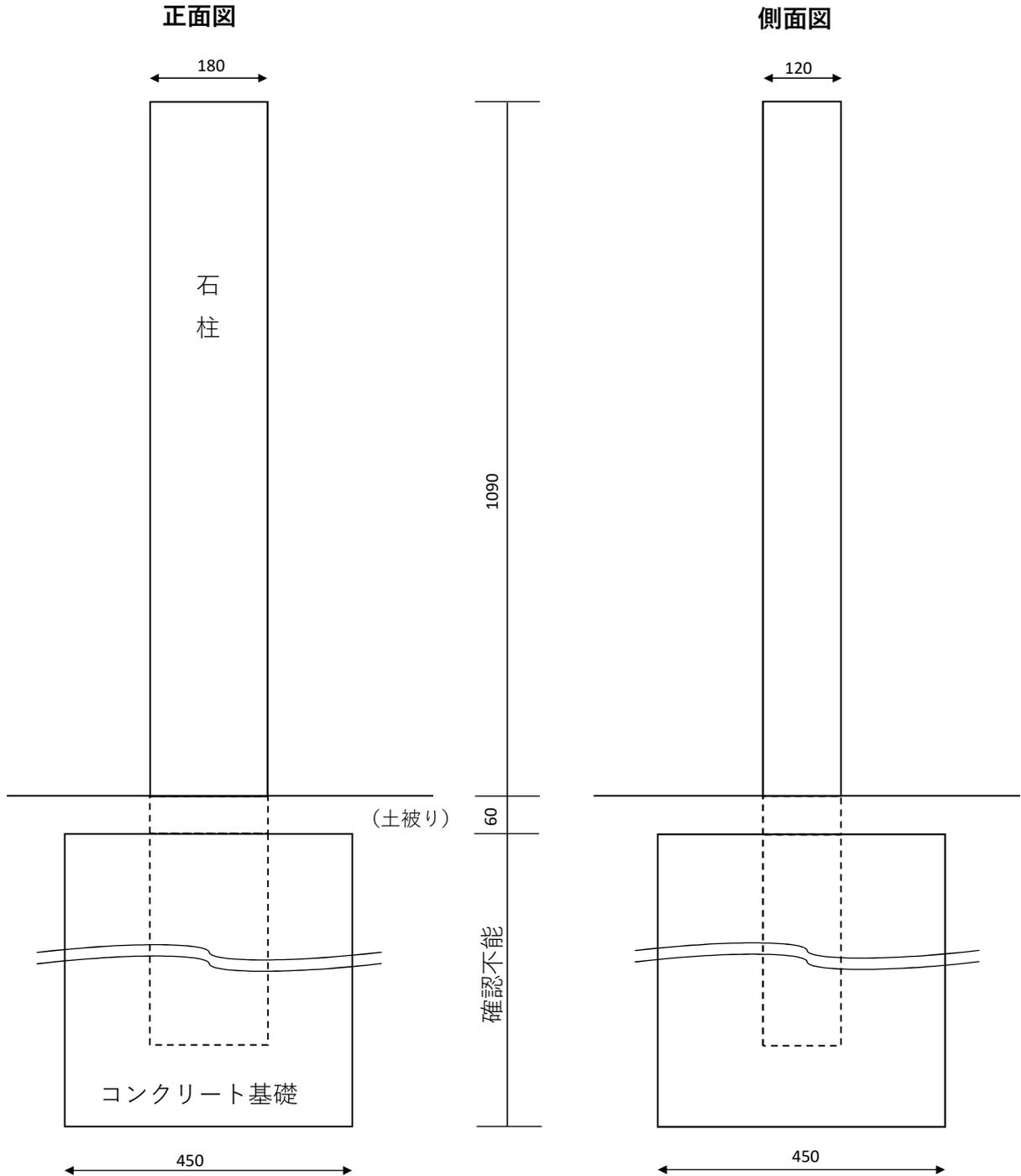


標準断面図 (B-B') (S=1:200)



石柱（宝くじ社会貢献広報事業）構造図（S=1:100）

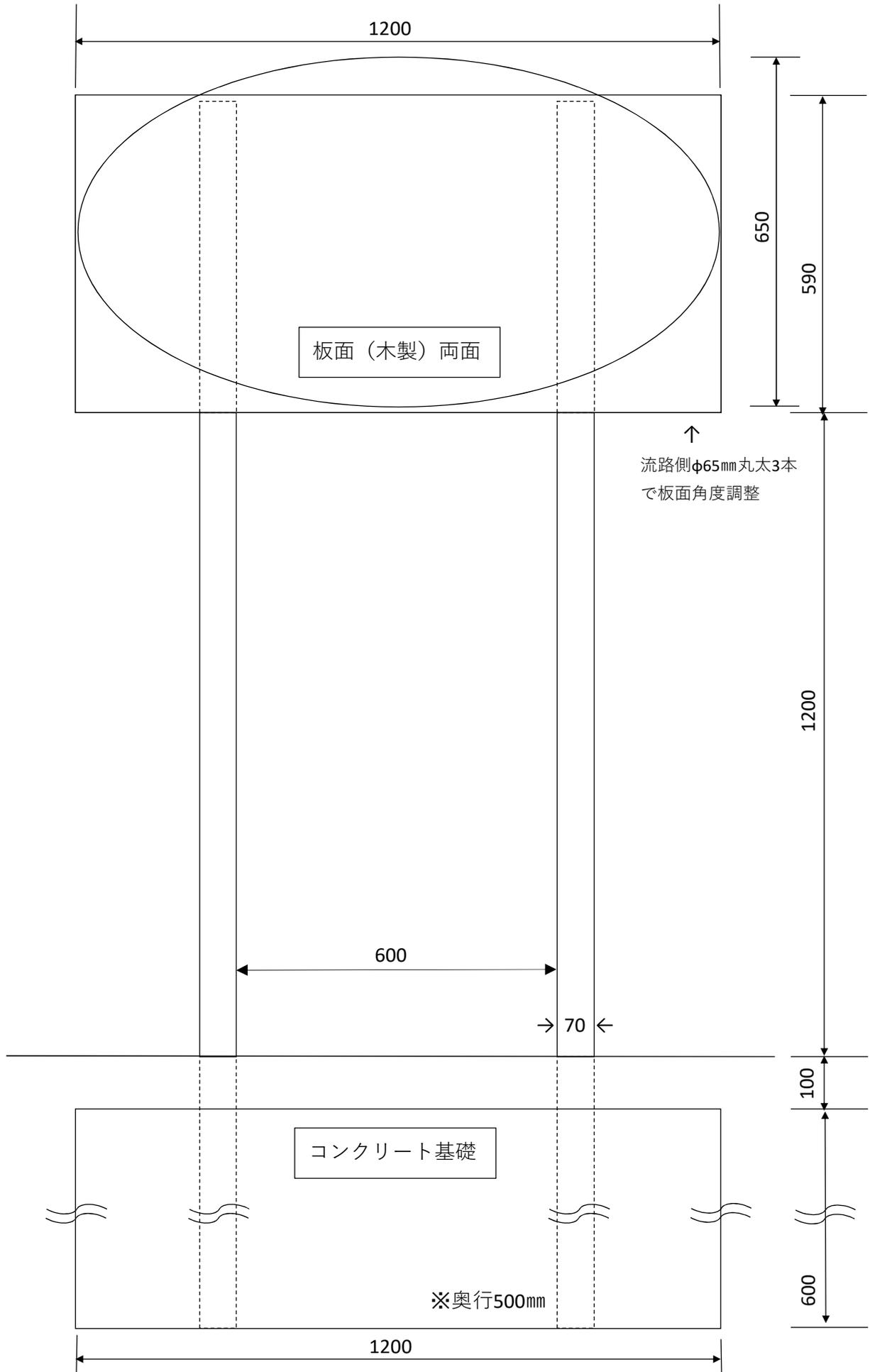
単位：mm



※平成25年に桜植栽記念として設置したもの（令和5年度占用漏れ是正）
設置時の資料等不明のためコンクリート基礎及び根入れの深さは確認出来ないが、
近接する案内板及び電柱より深くなることはないものと思われる。

案内標識構造図 (S=1:100)

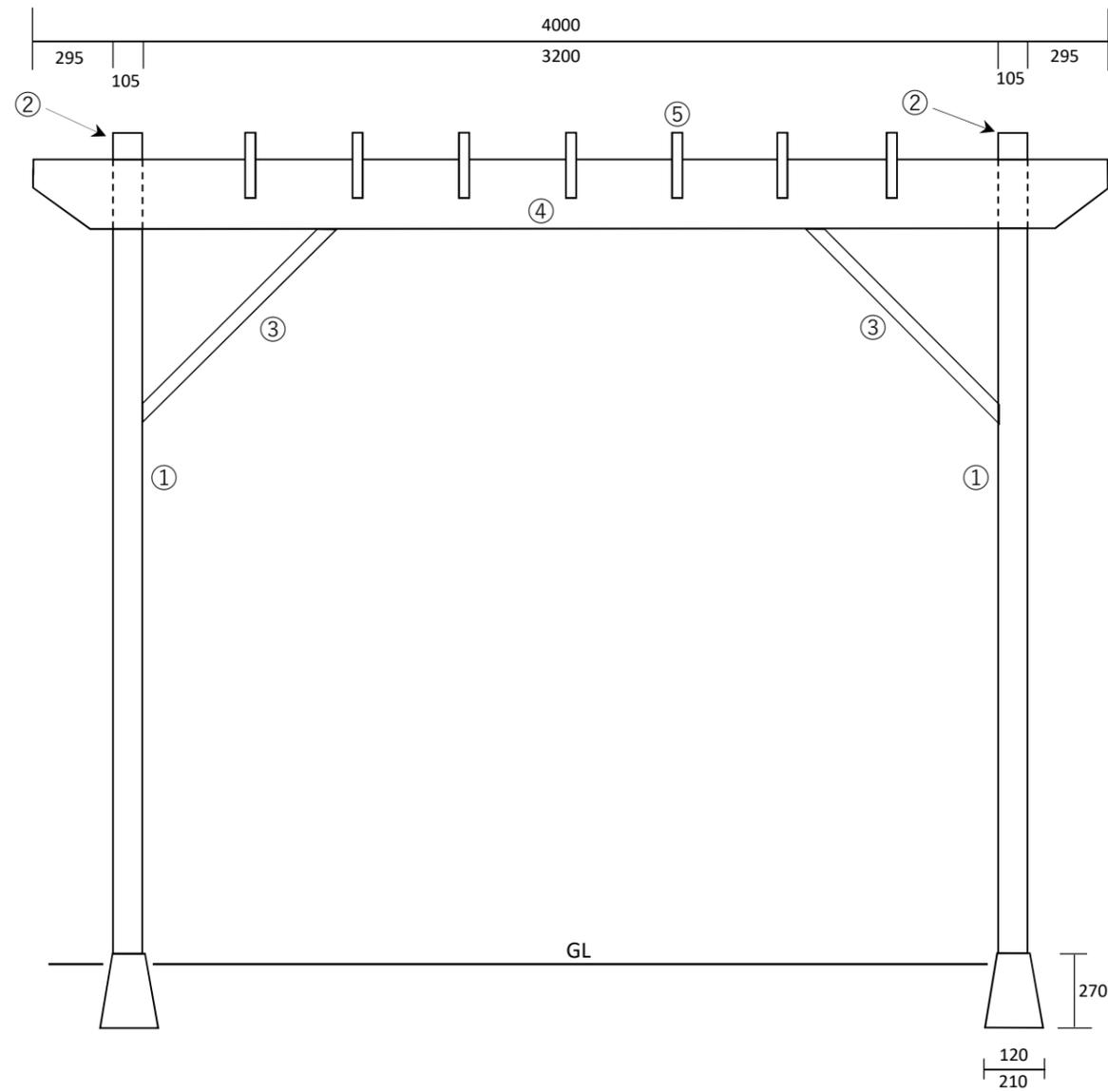
単位: mm



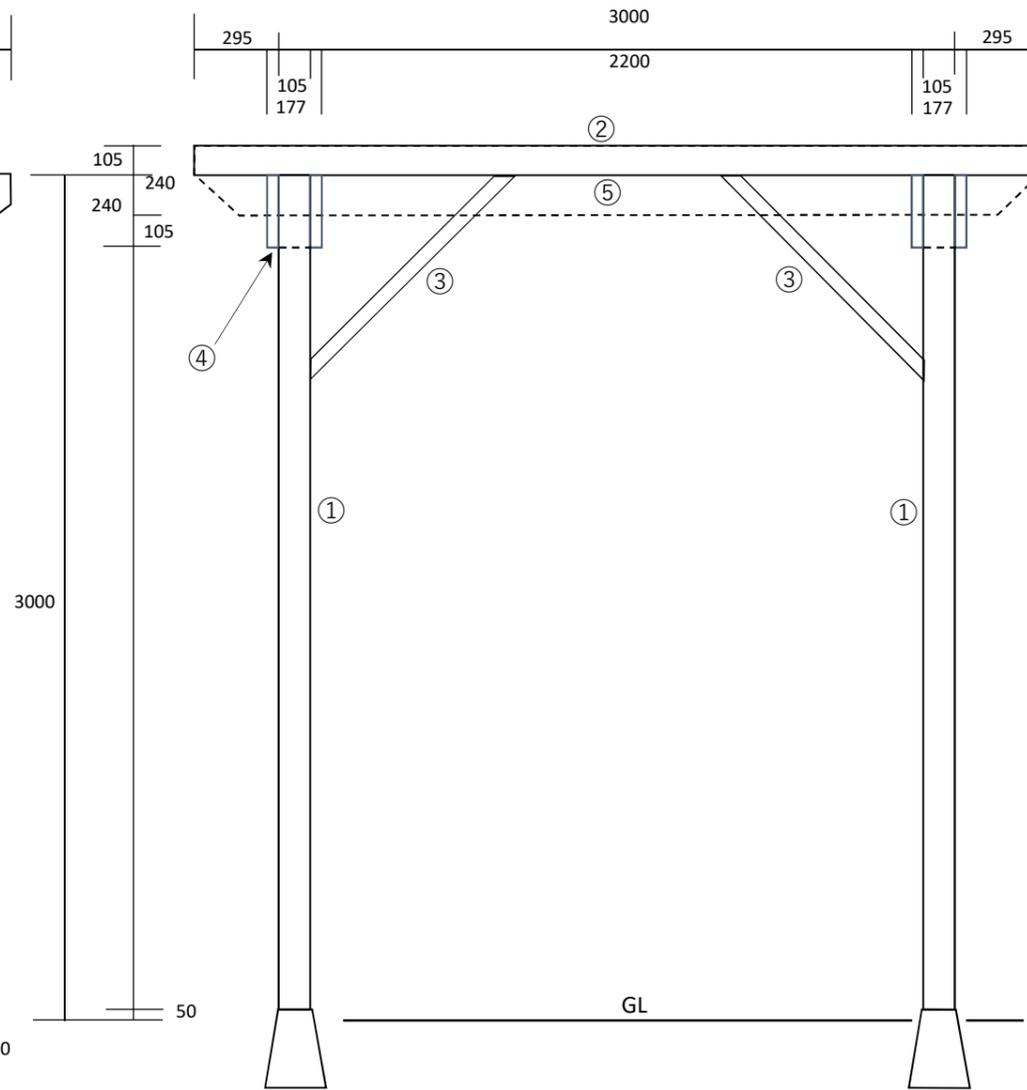
パーゴラ構造図 (S=1:250)

単位：mm

正面図

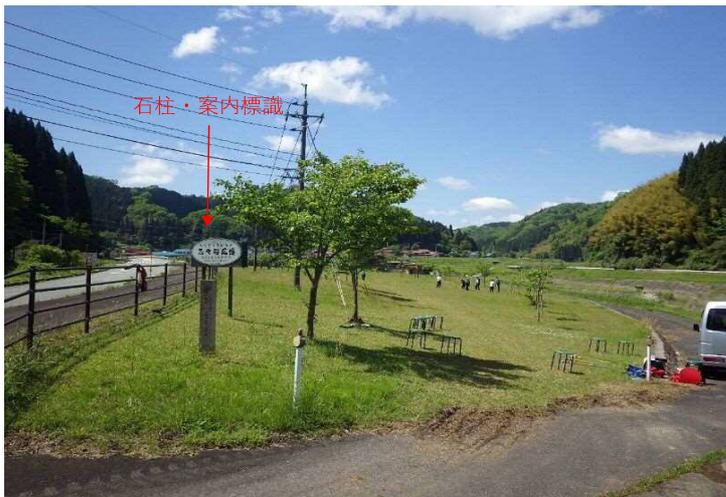


側面図



- ① 柱：105×105×3000 4本
- ② 両端屋根：105×105×3000 2本
- ③ 筋交金物 8本
- ④ 前後屋根受：36×240×4000 4本
- ⑤ 屋根 7本

羽子板付束石



上流側全景



植樹箇所



下流側全景